



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.170 2015年12月9日発行 九州支部長発行

昨日12月8日は、太平洋戦争開戦記念日。

1941年12月8日午前3時19分(現地時間7日午前7時49分)、日本軍がハワイ・オアフ島・真珠湾のアメリカ軍基地を奇襲攻撃した日です。長崎では「原爆と言えば、パールハーバーと返ってくる」、と言われてきた負の遺産。この日、長崎市の平和公園の一角に市民の寄付によって建てられた「外国人戦争犠牲者追悼核廃絶人類不戦の碑」の前で「不戦の誓い」が開かれました。日本人にとって、同じ過ちを繰り返さない、と世界に向けて誓う日でもあるこの日、地元のテレビは碑の前で平和を希求する若者の姿を放映していました。過去の歴史に真摯に向き合いながら、未来をどう作っていくのか、時にはサーバスの創始者たちの願いに思いを重ねながら、サーバス活動について考えて見るのも意義あることでしょうね。

会報2015年12月号(170号)をお届けします。

今回は活動のまとめのための報告依頼があります。会員のみなさま全てに返信を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

掲載している内容は以下の通りです。

- 1 2015年のまとめのために — 報告依頼
- 2 サーバストラベリング報告 その1 台湾旅行
- 3 サーバストラベリング報告 その2 韓国国内ミーティング参加記
- 4 シリーズ世界一周の旅 —その10— エジプト旅行
- 5 サーバス九州からのお知らせとお願ひ
- 6 サーバス九州現況 (2015年12月9日現在)と会員情報
- 7 サーバス九州連絡先等 (常掲) HPでは省略

1 2015年のまとめのために一みなさんに報告をお願いします。

恒例のものですが、別送信のメールで以下のことをお尋ねいたします。

みなさま全員にメールまたははがき等で返信いただければと思います。よろしくお願ひいたします。12月15日までにお願ひできればと思います。

<サーバス九州> 報告

1 : 会員名 :

2 : トラベラー受け入れについて

受け入れ : あり (件) なし

「あり」の場合は以下の①~④をお知らせください

(失念の場合は正確でなくても構いません)

① 訪問トラベラー名 ② 国名 ③ 期日 ④一言コメント

3 : サーバストラベリングについて

トラベリング : あり (ステイ 軒) なし

「あり」の場合は以下①~④をお知らせください

① 問国 ②ホストの名前 ③期日 ④一言コメント

4 : 2016年ホストリスト

記載事項の変更希望の有無

「あり」の場合はどのように変更されますか (具体的に)

2 トラベリング報告 その1

台湾旅行

福岡 T 会員

2015/ 10/29~11/3

夫と二人 5泊 6日の旅でした。3泊はサーバス宅に、2泊はホテルに泊まりました。

10/29(木) 12:15 福岡空港発 13:50 台湾桃園空港着

飛行場に S さん, Jo さん, Ja さんの 3 人が出迎えてくれました。3 人は去年 9 月の湯布院での九州サーバス例会に参加。そして今年 1 月の九州メンバー 7 名での台湾訪問時と今回。14 か月の間に 3 回もお会いしたことになります。

Jo さんの車で淡水へ。メインストリートは淡水老街といってみやげ物店や屋台が建ち並び夜遅くまで賑わっていました。夕日の美しさを眺め、士林夜市へ。ここは台湾最大級の夜市で平日でしたが連日深夜まで人出が絶えない所です。夜店で食事を済ませ、9 時頃 Jo さんの家へ。

2 日目 (10/30) は S さん n が 1 日案内してくれました。龍山寺、中山記念堂の衛兵交代儀式と台北 101 などその後 30 分のマッサージ。すごく痛かったけど気持ちのいいマッサージでした。ちょっとショックだったのは地下鉄やバスの中で 3 回も若い人や子供たちが席をゆずってくれたことです。(日本でしたらよっぽど年配の人にしか席を譲らないけど・・・)

この日台湾サーバスのリーダーである Se さんが私たちのためにベトナム、タイ料理店で食事会を開いてくれました。台湾メンバー 5 名と私たちが 7 名。楽しいひと時を過ごし帰りは Ro さん の車で Jo さんの家に送ってもらいました。

3 日目 (10/31) は朝 S さんが Ja さん宅の近くまで地下鉄 (MRT) で連れて行ってきて、その日は Ja さんがいろいろ案内してくれました。バスで国立故宮博物館へ。中国からの団体旅行者であふれていました。じっくり見たら 1 日かかりそうです。次は蒋介石の士林官邸公園。夕食は夜市で小籠包、熱々でジュース。フーフー言いながら頂きました。この日は Ja さん宅でお世話になりました。

4 日目 (11/1) は自分たちで花蓮に行きました。台湾鉄道に乗るため台北まで MRT で行くつもりでしたが、Se さんがわざわざ来てくれて、車で台北駅まで送ってくれました。花蓮では日本人経営のホテルに泊まり、日本人ゆかりの地 (戦争中日本人の移民村がいくつかあった) を案内してもらいました。経営者の播磨ご夫妻は “こんなところに日本人” という

テレビ番組で 8 月半ば花蓮を紹介していました。

5 日目 (11/2)

夕方花蓮から台北に戻り、次の日の朝 8:10 桃園空港発なので空港近くのホテルに泊まりました。台湾メンバーにすっかりお世話になりました。日本はおもてなしの国と言われますが、台湾はそれ以上のおもてなしの国でした。心温かい人たちとの交流は一生の思い出になりました。

3 トラベリング報告 その 2

韓国サーバスのミーティングに参加

長崎 Y 会員

ソウルで行われた韓国のサーバスミーティングに O さんと参加してきました。関東から K さんという女性が参加され、日本からは 3 名、その他、台湾やタイ・南アフリカからの参加もありました。

私たちが受け取った案内状には 11 月 28 日の午後 8 時に Assembly と書いてあったので、その時間に行けばいいのだと思い、ゆっくり、道を尋ねながら会場のユースホステルに向かいました。到着したのは、6 時頃です。そしたら、私たちの到着が遅いとみんなが心配してくれていました。ミーティングは、午後 3 時から、いくつかのプログラムが用意されていたそうで、私たちが着いた時はみなさんが夕食を済ませた頃でした。

状況がよくわからないまま、急いで夕食を済ませてサーバス総会に参加しました。参加者は 100 人強ぐらいでしょうか、若い人も多く、みなさんくつろいだ雰囲気です。一瞬、今からバンド演奏会でもあるのかな～と思いました。

当然ながら全て韓国語で進行されますので、私たちには内容がよくわかりません。時折、私たちのホストの I さんが要点を日本語で紙に書いて示してくださいましたので、少し、様子がわかりました。

韓国サーバスの活動がたくさん写真でスクリーンに映し出されて行きましたが、その中に何枚も九州支部との交流写真が出てきました。チェジュ、スンチョン、竹田・・・。思わず、声を出しながら見てしまいました。

印象に残ったのは韓国サーバスの理事会の報告の中のいくつか。

その一つは、確かめてはいないのですが、70 歳以上は永年会員(?)で会費免除という規定をあたらしく作ったそうです。もう一つが役員交代システム。役員任期は 2 年。副会長が次の会長になる。役員の仕事はトータルで 4 年。役員交代がスムーズ、という印象でした。日本からの参加ということで私たちも紹介され、O さんが九州サーバスと韓国サーバスの交流について英語で説明しました。

その後、ミニ講話として「風水」についての話がありました。韓国では風水が人気なのだそうです。I さんのメモ通訳のおかげで、退屈せずにすみしました。

総会の後は、2 段ベッドの部屋で上段に入って休みました。

ハンゲルで書かれた翌日の予定に、朝 6 時から散歩とあったので 5 時半に目覚ましをセットして寝ました。朝起きて外に出たら小雨が降り、誰もいないのでおかしいと思って、予定表をよく読んでみたら、個人で自由に散歩と書いてあり、納得しました。せっかく早起きしたので近くを散策しました。

宿泊したソウル国際ユースホステルは南山公園の中にあり、元 KCIA の本部だったそうです。近くに日本統治時代の記念碑みたいなものがありましたが、内容がよくわかりませんでした。

朝食をとり、玄関前で記念撮影をしてから、南山ツアーに出発しました。途中説明を聞きながら、と言っても説明の韓国語はほとんどわからず、みんなと一緒に韓国語、日本語、英語でおしゃべりをしながら、南山タワー(ソウルタワー)の入口の所まで歩きました。そこでビビンバの昼食をとって、お土産をもらって解散でした。私たちはホストのIさん・Pさん夫妻と一緒にタワーに登り、雲の間からソウル市内を眺め、ソウルから福岡までが500余km、東京まで1000余kmの表示に近さを実感しました。

その後はIさんの車で一緒にお宅に向かいました。娘さんのお部屋を使わせていただきました。そこでしばらく休んでから、4人で外出。市場を見物しながら高速バス乗り場の駅まで歩き、その近くにあるレストランで韓定食をご馳走になりました。

テーブルいっぱいの料理がテーブルごと引っ張ってこられて、私たちが座っていたテーブルにそのままカチッとセットされて配膳終了。びっくり。テーブルの天板が台車に乗せられてきてそれが客席のテーブルの上に載せられる仕組みだと分かりました。片付けも同じ要領で一瞬です。片付けの時、大急ぎで写真を撮りました。お腹一杯になって家に帰り、スーパーで買ったマッコリを飲みながら、雑談。Iさんは日本語と英語、娘さんと息子さんは英語が話せますので、会話は韓国語、英語、日本語で。韓国のお家はどこもよく片付いていること、その秘訣は？からはじまり、リサイクルやゴミ問題など話題は尽きません。



翌朝、そのマンション(韓国ではアパートと呼んでいますが)のゴミ分別収集所に連れて行ってもらい、実際を見せていただきました。生ゴミは重量制と聞いたけど、どのようにするのだろうか興味津々。Iさんは生ゴミバケツを抱えて、その場所に行き、設置された生ゴミ機械にそのまま生ゴミを捨てます。するとすぐに重量が表示されます。その結果は機械使用前にIさんが差し込んだテレカのようなカードに記録され、後日の請求になります。主婦はできるだけ水気を切って重量を軽くして捨てるそうです。リサイクルも鞆類、靴類、服類など細かに分かれています。韓国では衣類をそんなに長くタンスにしまっておくことはしないで、リサイクルしていくそうです。それで、家の中でもものがあふれていないのかな～と思いましたが、まだ、整理・整頓の秘訣がつかめませんでした。

その日は、近くにお住まいのサーバスメンバーS・Mさんという元高校の日本語教師の女性が来てくださり、Iさんと一緒にデイホストをしてくださいました。Iさんは仕事を休んで私たちにつき合ってくださいました。

最初は近くのオルレコースを歩いて、国立墓地のソウル顕忠院へ。そこは歴代の大統領のお墓や、兵士の墓碑が建ち並ぶ広大な公園で、きれいに整備されていました。埋葬されている方は朝鮮戦争で亡くなった方が多いそうです。私たちがよく知っている金大中大統領のお墓もありましたので参拝しました。

その後、電車に乗って、「妖しい彼女」という映画の撮影場所にもなったという「シルバーカフェ」に連れて行ってもらいました。散歩ができる公園の一角に建てられているカフェです。日替わりで歌や楽器の演奏などいろいろな催し物があり、お年寄りがたくさん集まって楽しんでおられました。日本語がわかるという87歳のおじいさんが対応してください、お茶をいただきながら少しだけお話しをお聞きしました。

次は、Iさんのお母さんのお宅訪問です。屋上には85歳のお母さんが作られた味噌やコチュジャンの甕が置いてあり、味見をさせていただきました。キムチは毎年手作りされるそうで、お母さんが作られたキムチをIさんの家でごちそうになりました。とてもおいしかったです。ソウルの街中でも味噌やキムチを手作りされているのは驚きでした。

帰りがけに、焼き魚定食の夕食を済ませて帰りました。途中スーパーに寄ってもらって、

韓国のりやマッコリ、キムチなどのお土産を買いました。

帰ってからビールを飲みながら、息子さんも加わっていろいろおしゃべりしました。韓国語・日本語・英語での会話は、わかったりわからなかったりですが、何とか意思疎通はできるものです。

翌日、ディナーのような豪華な朝食をIさん夫婦と娘さんと5人でいただきました。息子さんは一足早く朝食をすませて出勤され、その後、Iさんと娘さんが出勤。しばらくしてPさんが私たちをバス停まで送ってくださって、帰国の途につきました。

帰りは1時間10分ばかりの飛行で、軽食を済ませたらもう着陸です。東京より近い韓国は、時差もなく、治安もよく、物価も安く、人々も親切で大好きです。もっと韓国語を勉強して韓国語だけで会話できるようにしたいと思いました。

4 シリーズ世界一周の旅 ーその10ー

熊本 T 会員

エジプト旅行 2012年5月4日～12日

ヨルダンからエジプトへの移動は、当初、陸路でシナイ半島をバスで移動できないかと考えていたが、「アラブの春」後、国を負われた人々がシナイ半島に潜んでいて、すでに韓国人が誘拐されているとの話を聞いたため、急遽、エアーチケットを手配することにした。実際、カイロに到着しタハリール広場に行くと、まだテントが張られている状態だったし、イスラムの休日である金曜日にはエジプトの旗をもって声を上げて歩く人々を見たし、夜間は集会が行われていたようで、タハリールの方には行くなと店主に注意されたり、またバスでの移動中、公道で石を投げ合っている人々を見かけたりもした。丁度大統領選挙の一ヶ月前だったので、まだまだ町は混乱していたようだった。

混乱中のエジプトではあったが、一応観光は可能で、カイロでは考古博物館やギザのピラミッドを見ることができた。しかし、今まで行った観光地の中でも、エジプト人の観光客に対する態度は最悪で、いろいろと嫌な目にあった。中でも最悪だったのが、私たちがピラミッドを目指してバス亭を探していたとき、丁度通りかかった青年に道を聞いたところ、自分もそこに行くからと道案内を申し出てくれた時だった。自分たちから声を掛けていたので安心して彼についてバスで移動し、ピラミッドの近くまで到着すると、今後は、自分の友人が車を持っているので、それに乗って案内すると言い出し、高額な値段を言ったのでそれを無視して歩き出すと、ずっと私達の後を車で追いかけてきて、私たちはひたすら遠くに見えるピラミッドを目指して砂漠の中を歩くという最悪な状態となった。最終的には、彼らがあきらめて去っていったのだが、彼らが去ったら去ったで、今度は地元の子供に物をせびられたり、その後見つけたタクシーで移動すると当初言っていた値段と違う価格を請求されたり、またピラミッドに辿り着くまで、何人も勝手にタクシーの助手席に乗り込んできて、ラクダに乗るよう交渉してきたりと、へとへとな一日となった。また、ピラミッドの敷地内に入ったら入ったで、今度は施設管理しているはずの管理人たちが、特別に普段は入れない場所に入れてやるからとお金を請求してきたり、勝手にいろいろなポーズを取らせて写真を撮ってはお金を請求してきたり・・・と、数えきれないほど。商売根性がすごいというか、なんというか・・・もしこんな交渉を一々したくないのであれば、是非ツアーでエジプトに行かれることをお勧めする。

カイロ観光後は、夜行列車に乗ってルクソールへ向かった。列車は2人用のコンパートメントで、二段ベッドとなっていた。食事は簡素なものだったが、自分達だけの個室だったので割りと快適だった。早朝にルクソールに到着。駅では直ぐにタクシードライバーに囲まれ、交渉後にホテルへ移動（途中違うホテルに連れて行かれた）。直ぐにホテルでツアーを申し込みマイクロバスで「王家の谷」へ。ツタンカーメンの墓やハトシェプスト女王の神殿、カルナック神殿などを見学。ギザのピラミッドも大きかったが、ココにある神

殿も大きく、太くて高い柱がいくつも並んでいる様子は壮大だった。長い年月がたっているにもかかわらず絵文字には美しい色彩が残っていた。アメリカやイギリスの博物館でも石造や棺は見る事が出来るが、ピラミッドや神殿はエジプトでしか見れないので、是非一度は訪れてほしいと思う。エジプトで旅行するにあたり、色々と大変なことは多かったが、ココでしか見れない景色を沢山見れたのは良かったと思う。ルクソール後はアスワン、アレクサンドリアへ移動。その話はまた今度。

5 サーバス九州からのお知らせとお願い

- 1 2016年分の年会費(3000円)の納入をお願いします。2016年1月31日を締め切りにします。(サーバス九州事務局は郵貯口座をもっています。もし、郵貯通帳をお持ちでしたら振り込み手数料無しで送金できます。
- 2 サーバス会員資格は自動継続になっていますが、ご事情で退会を希望される方は12月末までにお申し出いただければと思います。
ご多用でしょうが、どうぞよろしくお願い致します。

6 サーバス九州現況と会員情報 (2015年12月9日現在)

福岡のSさんから入会申し込みが届いています。2016年度からの扱いになります。大分のFさんのお友達からも問合せがあります。やっぱりみなさまのロコミが一番です。よろしくお願ひいたします。

現在九州支部会員数 59 家族

内訳：福岡 15、佐賀 4、長崎 10、熊本 6、大分 14、宮崎 9、鹿児島 1